

提案募集

2018 年度分野横断型研究体

日本セラミックス協会では、セラミックスおよび関連した材料・機能・プロセスを対象とし、セラミックス関連の各分野あるいは、他学協会と連携する形で、従来の部会・研究会とは異なる横断型の研究分野や研究・技術的な課題に興味をもった研究者・技術者が、その中での共通的な話題、問題点を議論する場を創設すること目的として分野横断型研究体設置の提案を募集します。

助成内容 1 件につき 10 万円以内/年、論文誌またはセラミックス誌の特集号掲載時の支援、年会・秋季シンポ時のパネル設置

継続年数 研究体の活動期間は原則として 4 月から翌年 3 月までを 1 年とする 5 年間とする。5 年間に連続する期間（3 年）を、1 回のみ、活動期間として更新が可能。

申込方法 下記 URL より「分野横断型研究体設置申請書」をダウンロードの上、ご記入頂き、E-mail 添付で申請してください。

<http://www.ceramic.or.jp/cs/j/kenkyutai/kenkyutai.html>

締切 2018 年 2 月 9 日（金）

採択決定 2018 年 3 月上旬予定

問合せ先 169-0073 東京都新宿区百人町 2-22-17 日本セラミックス協会 TEL 03-3362-5231, FAX 03-3362-5714, E-mail: jim-ask@cersj.org

日本セラミックス協会 分野横断型研究体規約

2017年7月27日 理事会承認

- (総則)
- 第 1 条 分野横断型研究体（以下「研究体」）の設置、運営などについては、本規約の定めるところによる。
- (分野横断型研究体の目的)
- 第 2 条 研究体は、セラミックスおよび関連した材料・機能・プロセスを対象とし、セラミックス関連の各分野あるいは、他学協会と連携する形で、従来の部会・研究会とは異なる横断型の研究分野や研究・技術的な課題に興味をもった研究者・技術者が、その中での共通的な話題、問題点を議論する場を創設することを目的とする。
- (研究体の設置)
- 第 3 条 研究体の設置申請は、代表者 1 名と世話人 5 名以上の連名で、研究体名、設置理由、世話人の役割分担、その他を記した所定の申請書を運営委員会委員長あてに提出する。代表者 1 名は個人会員とし、世話人 5 名以上は個人会員であることを問わない。
- 第 4 条 運営委員長は、この申請を運営委員会に諮りその採否を決定し、理事会に報告する。原則として採択数は最大 2 件/年とするが、継続中を含む研究体の数は 6 件を超えないものとする。
- 第 5 条 研究体の活動期間は原則として 4 月から翌年 3 月までを 1 年とする 5 年間とする。5 年間に連続する期間（3 年）を、1 回のみ、活動期間として更新可能とする。公募は運営委員会が行い、申請があった場合は運営委員会にて審議の上、採否を決定し、理事会に報告する。
- (研究体の運営)
- 第 6 条 運営委員会の審議を経て、研究体に対し財政援助として助成金を支払うことができる。助成金支払いは原則として年に 1 回とし、その金額は協会の財務状況を勘案し、翌年度予算策定時に運営委員会で審議し決定する。なお、研究体が秋季シンポジウム特定セッションに応募し採択された場合は、所定のオーガナイザ費用に加え、この助成金をセッションの活動費として使用することができるものとする。
- 第 7 条 助成金のほか、研究体の活動への支援として下記を提供することができる。
- ①事務局の支援（予算の支出管理、広報活動支援、研究発表会等の支援）
- ②JCS-JAPAN およびセラミックス誌特集採択時の支援
- ③年会・秋季シンポ時のパネル設置
- (研究体の成果発表・活動報告等)
- 第 8 条 研究体は、その成果発表・活動報告として下記を行うものとする。
- ①年次報告書の提出。
- ②論文誌またはセラミックス誌へ特集号の企画の申請（3 年間終了までに最低 1 回、更新時は 8 年間終了後 1 年以内までに +1 回）。
- 第 9 条 研究体が活動を終了する場合は、終了報告書を提出するものとする。
- (規約の改廃)
- 第 10 条 本規約の改正は、運営委員会の議決により行う。
- 第 11 条 本規約は、理事会の承認のあった日から施行する。
- 2016 年 1 月 20 日 制定 理事会承認
- 2016 年 5 月 18 日 一部修正 理事会承認
- 2017 年 7 月 27 日 一部修正 理事会承認